

亀岡市馬路町の南丹高が19日、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝える「南丹キッズパーク」を同高で開いた。丹波の子どもたちが大勢訪れ、同高の生徒や地元メーカーの従業員らと工作や実験などで交流した。

工作、実験 子らワクワク

南丹高で交流



①プラスチック部品を使ったキーホルダーづくりを子どもたちに教えるテクニカル工学系列の生徒たち(亀岡市馬路町・南丹高)
 ②電気を蓄えたおもちゃの電車を走らせ、コンデンサーの仕組みを学ぶ子どもたち

生徒や技術者手ほどき

2015年4月開設のテクニカル工学系列を地元にアピールするため昨年からはじめた。

プラスチック部品を使ったキーホルダーづくりでは、子どもたちが部品にねじを通す溝をつけたり、穴を空けたりする作業を体験した。生徒が機械の使い方などを丁寧に教えた。女子生

徒が手ほどきするエコバッグづくりなども人気を集めた。

屋外では、生徒が手作りした道具でボン菓子とワッフルを焼き上げた。金属管を接いだ自動車の実乗会は親子が列をつくった。

採用などで同高と連携している地元メーカー10社も参加し

た。電子部品のニチコン亀岡(亀岡市北古世町)は、おもちゃの電車で実験を行い、子どもたちが電気を蓄えるコンデンサーの役割を学んだ。金属部品の二九精密機械工業(京都市南区)は、幅約2枚のステンレスを微細加工して作ったインドのタージマハルなどを展示した。(猪口健司)